

- ・ ツルが来た!
- ・ 鴨池のいきもの 12月
- ・ オナジトコ チガウトコDX
- ・ TORI TOPICS Nov.
- ・ イベントあったよ!

ゆく年くる年  
両面スペシャル

SIDE 2015  
うらにもあるよ!



たまにはそばも  
大川なもんだね~

# 鴨池通信

No.268/2015.12

鴨池に来るすべての鳥と人間のみなさん、2015年もありがとうございました~!

## 鴨池のいきもの12月

…あつ、あの、ぼつ僕のこと見えてたんですか?や、あの、あのですね、僕は今枯れたヨシっていう設定でここにいたんですが…

…おかしいな、首の伸ばしかたが甘かったのかな…  
…それとも体の揺らしかたが草の動きにシンクロしてなかったのか…いえ、なんでもないです。あつはい

そうです、僕サンカノゴイで間違いないです。山家五位

里離れたところに棲む五位鶯(みたいなサギ)ってことです。とは言っても山ではなくて

ヨシ原で暮らしていますが…いても気づかれないからね、それだけ身を隠すのが上手いってことなだけけど…なんで僕見つかったんだらう…いえ、なんでもないです。

ひとりごとです。はい僕鴨池好きです。

ふと気づけばそこにいる…

## サンカノゴイ

僕たち怖が…いや警戒心強いので、夕方薄暗くなった

ころの鴨池のヨシ原が好きなんです…だから今も隠れてたのに…ここでこっそりマガンが帰ってくるのを見たり

ごはん食べたりしてます。繁殖期じゃないから鴨池にいるときは静かにしてます。僕鳴いたら5km先

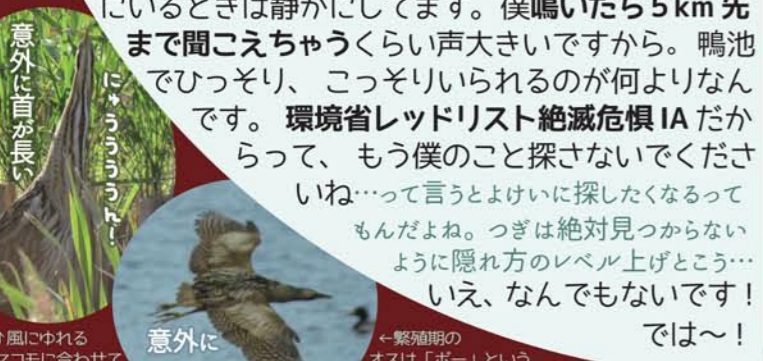
まで聞こえちゃうくらい声大きいからです。鴨池でひっそり、こっそりいられるのが何よりなんです。

環境省レッドリスト絶滅危惧IAだからって、もう僕のこと探さないでくださいね…って言うのとよけいに探したくなるって

もんだよね。つぎは絶対見つからないように隠れ方のレベル上げとこう…

いえ、なんでもないです!では~!

意外に翼が幅広  
←繁殖期のオスは「ポー」という声で鳴くとか。鴨池でも聞いてみたい!



↑風に中れるマコモに合わせてゆらゆらします。

## ツルが来た!

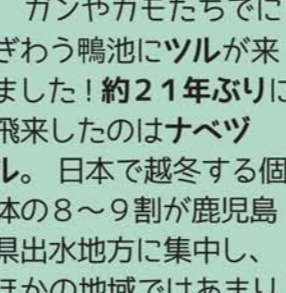
ガンやカモたちでにぎわう鴨池にツルが来ました!約21年ぶりに飛来したのはナベヅル。日本で越冬する個体の8~9割が鹿児島県出水地方に集中し、ほかの地域ではあまり見られない天然記念物のツルです。

11月12日朝、鴨池たんぼにいたのが確認されました。成鳥2羽、幼鳥1羽の親子です。しばらく鴨池たんぼで稲穂を食べたりして羽を休めていましたが、お昼前に飛び立って鴨池を出てきました。ちょっと立ち寄りだけなのかなと思っていたその日の夕方、なんとナベヅル親子が鴨池に戻ってきたのです!それから約3週間、彼らは鴨池をねぐらにして加賀市内に滞在していました。

先日来館されたお客様より、この親子は11月10日まで兵庫県加古郡付近に滞在していたとの情報をいただきました。約3週間と短い滞在期間でしたが、この場所を気に入ってまた来年もなかまを連れて訪れてくれるとうれしいですね。最大の越冬地である鹿児島県出水地区では、ナベヅルやマナヅルが集中しすぎているため、越冬地を分散させる動きも起こっています。鴨池はあまりツルの好まない地形といわれていますが、彼らの越冬地の一つとして使ってもらえるなら大歓迎です。ガンもカモもツルもいる鴨池になる日もそう遠くないのかも?!



↑ナベヅルの名は、体の羽が鶴の底についたすのように見えることから。頭から首にかけて少し茶色っぽいのが幼鳥です。



朝はマガンよりも早く飛び立ち、夕方薄暗くなつてから鴨池に帰って来ます。

## オナジトコ チガウトコDX

今回のオナジトコ チガウトコは「さこつ」のお話です。「さこつ」は人間だと左右の肩から「胸骨」の上部につながり、腕を前にまわす、抱きつくような動きの補助をしている骨です。ちょうど喉の横から肩に行く細い骨と言えば分るでしょうか。鳥類の場合は「さこつ」が左右の骨がつながっており、一つになっています。このようにいくつかの骨がくっついて一つになることを「癒合」といい、鳥類の癒合した「さこつ」を「叉骨」、それ以外の動物の左右に分かれた「さこつ」を「鎖骨」と書いて区別をしています。



鳥の叉骨が左右でつながっている理由ですが、はばたく時にバネのようにしなることで反動をつけ、はばたきの補助になっていると言われていました。しかし、最近の研究では反動よりも呼吸の補助になっているのでは?という話もあります。実際はどちらなのでしょう?

実は左右で癒合した叉骨を持つ生き物がほかにもいます。それは恐竜の中でも鳥の祖先やティラノサウルスを含む「獣脚類」というグループです。恐竜の化石からは長い間鎖骨の骨が見つかっておらず、鎖骨が退化していたと考えられていました。一度退化してなくなった骨がもう一度進化するとは考えづらいことから、「恐竜には鎖骨がないので、鳥類は恐竜から進化してきたのではない」と唱える人もいました。

しかし、恐竜の獣脚類につながった「叉骨」が見つかったことで、恐竜から鳥類が進化したという説の反対理由だった「チガウトコ」が説を大きく後押しする「オナジトコ」になったのです。さらに飛ぶために癒合したと思われる叉骨が、飛ばない恐竜でもつながっていたことから、叉骨ができた理由は飛ぶため以外にあるということがわかります。その理由はまだ研究途上ですが、呼吸の補助に使っていたという説や、獲物を腕で抑える時の「胸帯」の補強に使われたのではという説もあります。これから研究が進んで、このような進化のナゾが解けていくのが楽しみです!



さて、鎖骨を含めた肩のあたりの骨は生き物によってさまざまに変化してきた場所です。魚類からその変化を追っていくととても面白いのですが、少し長くなりすぎたので、今回はここまでです。12月はクリスマスシーズンですね。(もう過ぎてしまいましたが…)クリスマスで鳥といえば七面鳥です。(フライドチキンなのは日本だけ)西洋には昔から七面鳥の丸焼きを食べた後に行われてきたある儀式があります。簡単に言えば二人で「叉骨」を持って折り、かけらが大きい方の人の願いがかなうというもの。そのような文化から「叉骨」は英語で「Wish bone」とも呼ばれます。縁起のいい骨としてアクセサリーになっていることもあります。もしお家などで七面鳥を食べる機会がありましたら、胸のあたりにある「叉骨」を探してみてください。

参考: 福井県立恐竜博物館 研究職員 今井氏からの私信

## TORI TOPICS Nov.

- \*11月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなど、ハイライトをご紹介します!
- ミコアイサ初認 (1日)
- サンカノゴイ・カワアイサ初認 (9日)
- ナベヅル飛来 (12日~)
- オオタカ、オオバン捕獲 (20・21日)
- オオタカ、オオバン捕獲するもノスリに奪われる (23日)
- クマタカ初認 (30日)



↑ガンも襲うクマタカの出現に、池にいたヒシクイたちも警戒態勢でした。

## イベントあったよ!

ガンの飛び立ちをみよう  
2015年12月19日・20日  
2016年1月9日・10日  
早期6:30~  
例年よりちょっと少なめな約1200羽のマガンたちですが、今年も見事に飛び立っていききました。4回の開催で計71名の参加者のみなさんから歓声が上がっていました。今回見逃してしまった方も観察館のFacebookで飛び立ちの様子を公開していますので、チェックしてみてくださいね!



↑11月10日の飛び立ちでは、いつもより少し、ゆっくりめに飛び立ったマガンたちが手前大きく旋回してました!

鴨池観察館通信紙 No.268 鴨池通信2015年12月号

発行: 加賀市鴨池観察館  
 制作編集: 加賀市総合サービス株式会社 田米希久代 櫻井佳明 中野夕紀子  
 〒922-0564 石川県加賀市片野町子2-1  
 TEL: 0761-72-2200 FAX: 0761-72-2935  
 E-mail: kamoike@kagashi-ss.co.jp URL: www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/

Twitter Facebookで最新ニュースお届け中! Facebookはアカウントなしでも見られます!!

指や鎖などで片方を隠すと読みとりやすい!

